

日本海側拠点港の 取組状況について（報告）

国土交通省 港湾局
平成29年2月

日本海側拠点港について

- ・経済成長著しい対岸諸国と地理的に近接する日本海側港湾において、既存ストックを活用しつつ、伸ばすべき機能の選択と施策の集中及び港湾間の連携を通じて、対岸諸国の経済発展を我が国の成長に取り入れるとともに、東日本大震災を踏まえた災害に強い物流ネットワークの構築にも資することを目的とする。
- ・現在、港湾管理者が荷主等港湾関係者と策定した日本海側拠点港の形成に向けた計画書に基づき、官民が連携した様々な取組が行われているところ。

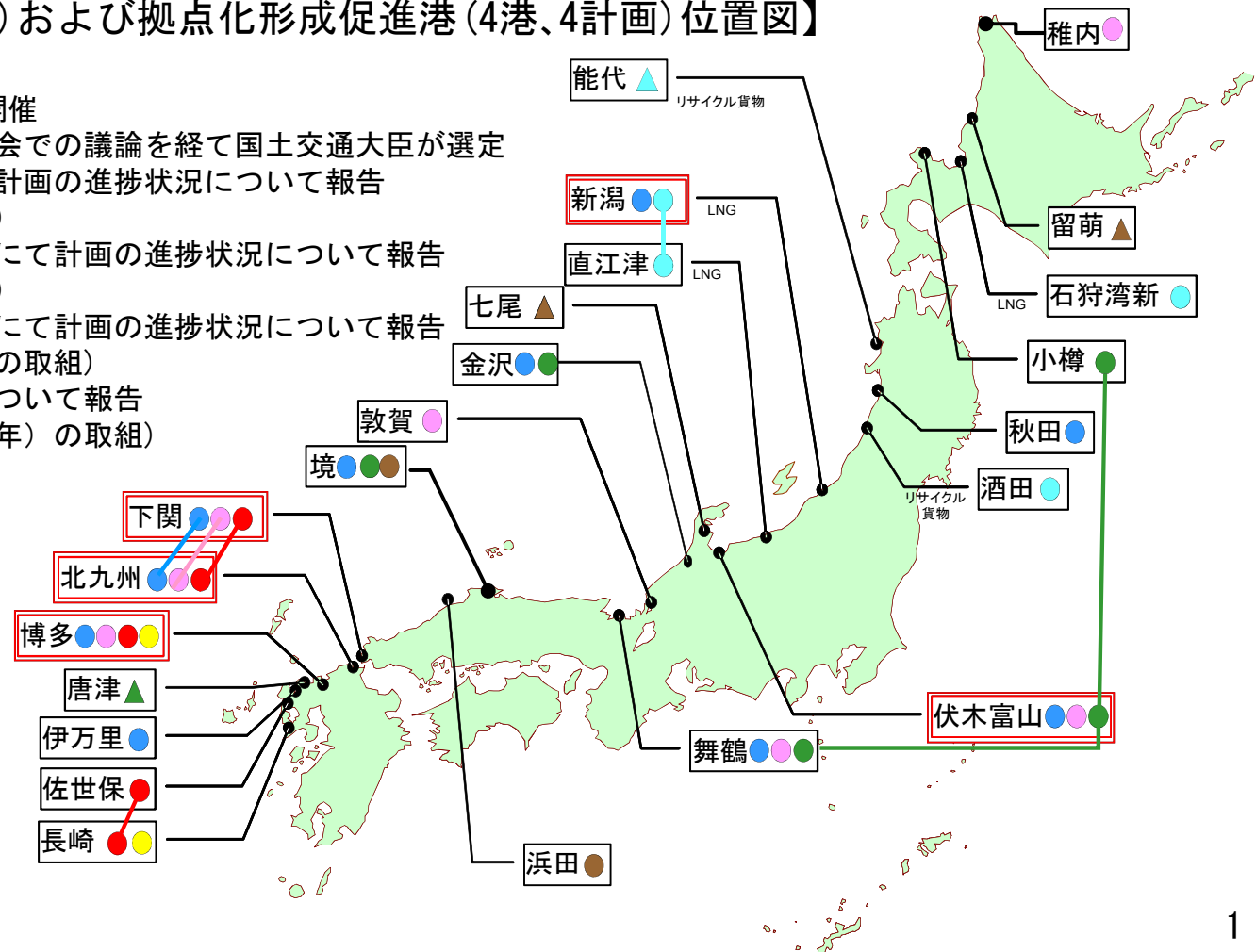
【日本海側拠点港（19港、28計画）および拠点化形成促進港（4港、4計画）位置図】

○主なスケジュール

- ・平成22年11月24日 第1回検討委員会開催
- ・平成23年11月11日 10回にわたる委員会での議論を経て国土交通大臣が選定
- ・平成24年 9月12日 第11回委員会にて計画の進捗状況について報告
(平成23年の取組)
- ・平成26年 8月 6日 第57回港湾分科会にて計画の進捗状況について報告
(平成24年の取組)
- ・平成27年 3月10日 第59回港湾分科会にて計画の進捗状況について報告
(平成25年～26年の取組)
- ・平成29年 2月 計画の進捗状況について報告
(平成27年（2015年）の取組)

日本海側拠点港〈19港、28計画〉

- 総合的拠点港
(日本海側拠点港のうち5港)
- 国際コンテナ
- 国際フェリー・RORO
- 国際定期旅客
- クルーズ(定点)
- クルーズ(背後観光地)
- 原木
- その他
- △ 拠点化形成促進港(4港、4計画)



日本海側拠点港について

●日本海側拠点港〈19港・28計画〉

国際海上コンテナ〈10港・9計画〉	「博多港」、「北九州港・下関港」、「新潟港」、「伏木富山港」、「秋田港」、「伊万里港」、「境港」、「舞鶴港」、「金沢港」
国際フェリー・国際RORO船〈7港・6計画〉	「博多港」、「北九州港・下関港」、「敦賀港」、「稚内港」、「伏木富山港」、「舞鶴港」
国際定期旅客〈5港・3計画〉	「博多港」、「北九州港・下関港」、「長崎港・佐世保港」
外航クルーズ(定点クルーズ)〈2港・2計画〉	「博多港」、「長崎港」
外航クルーズ(背後観光地クルーズ)〈5港・3計画〉	「小樽港・伏木富山港・舞鶴港」、「金沢港」、「境港」
原木〈2港・2計画〉	「境港」、「浜田港」
LNG〈3港・2計画〉	「直江津港・新潟港」、「石狩湾新港」
リサイクル貨物〈1港・1計画〉	「酒田港」

【総合的拠点港〈5港〉】

「新潟港」、「伏木富山港」、「下関港」、「北九州港」、「博多港」

※日本海側拠点港19港のうち、取扱貨物量等様々な指標からみて、他の日本海側港湾に比較して総合的な発展可能性が高いと認められる港湾を選定

●拠点化形成促進港〈4港・4計画〉

「留萌港」(原木)、「能代港」(リサイクル貨物)、「七尾港」(原木)、「唐津港」(外航クルーズ(背後観光地クルーズ))

※上記4港については、「日本海側拠点港」としての選定には至らなかったが、拠点港選定に向けて官民挙げて熱意を持って計画を立案・提案したことに鑑み、該当機能に係る「拠点化形成促進港」として選定し、その計画の実現を後押しするためフォローアップを行っていくもの。

各港の取組状況について

日本海側拠点港（拠点化形成促進港含む）の港湾管理者に対し、「日本海側拠点港の形成に向けた計画書」の主な取組状況と今後の予定について調査を行った。

調査対象年は、平成27年（2015年）とした。

【調査内容】

- (1) 他港との連携の進捗状況 (2) 既存施設の有効活用 (3) 計画実現のための推進体制や行動計画
 (4) 段階計画の進捗状況 (5) 取扱貨物量、航路開設状況等の統計資料

①国際海上コンテナ（1）（10港・9計画）

港名	代表的な取組事例（平成27年（2015年））	平成22年（2010年）との比較
秋田港	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナヤード拡張（ヤード面積17ha）により取扱可能量100,000TEUに機能強化。[2015. 1] ・ガントリークレーンを1基増設し、2基体制とすることで荷役機能強化。[2015. 9] 	貨物量増加
新潟港	<ul style="list-style-type: none"> ・「輸出コンテナ貨物等利用拡大支援事業」により、船社、荷主への経費助成などの支援を継続実施 ・国際海上コンテナターミナル拡充するための港湾計画を改定。[2015. 3] 	貨物量減少
伏木富山港	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外でセミナーや商談会開催、各種物流展示会へ出展。台湾・シンガポールに訪問し、船社・荷主企業等へのポートセールスを実施。 ・「伏木富山港災害時における官民連携協議会」において、ロールプレイング訓練を実施。[2015. 3] 	貨物量増加
金沢港	<ul style="list-style-type: none"> ・国内だけでなく、海外においても県、市、金沢港振興協会、荷役企業等が参加する官民一体のポートセールスチーム結成し、ポートセールス活動を実施（国内84社、海外2回）。 ・伏木富山港、敦賀港と連携し、名古屋で開催された南海トラフ大地震を想定した代替輸送訓練のワークショップに参加。[2015. 10] 	貨物量増加
舞鶴港	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府内外で個別企業訪問、セミナーの開催、各種展示会への出展等、さまざまなポートセールスを実施。 	貨物量増加
境港	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域に展開する流通・製造業者等を対象に定期航路のPRを目的に、「アジア・シームレス物流フォーラム2015」に初出展。[2015. 6] ・鳥取県の境港利用促進助成事業により荷主企業等への支援を継続。 	貨物量増加

各港の取組状況について

港名	代表的な取組事例（平成27年（2015年））	平成22年（2010年）との比較
下関港 北九州港	<ul style="list-style-type: none"> 下関港湾協会と下関市が共同で、韓国及び国内でポートセミナーを開催。北九州市と北九州港航路集貨対策委員会が合同で北九州港セミナーを開催。 下関・北九州両港は事業継続計画(BCP)を策定。[2015. 3(北九州港)、2016. 3(下関港)] 	貨物量増加
博多港	<ul style="list-style-type: none"> 福岡市と（一社）博多港振興協会が連携して、国内外での博多港振興セミナーの開催や荷主・船社への営業活動などを実施。 博多港物流ITシステム（HiTS）とバンコク港のITシステムの連携運用を開始。[2015. 6] 	貨物量増加
伊万里港	<ul style="list-style-type: none"> 「伊万里港振興会」が中心となり、ベトナムほかにおいてポートセールスを実施。 	貨物量減少

②国際フェリー・国際RORO船(7港・6計画)

港名	代表的な取組事例（平成27年（2015年））	平成22年（2010年）との比較
稚内港	<ul style="list-style-type: none"> 国際フェリー航路の運航再開のため、新運航会社の設立に向け調整をすすめた。 サハリンにおいて、道北地域の物産の販路拡大を目的に、道北9市による物産展を開催。[2015. 9] 稚内港からサハリンに輸出する事業者に輸出助成事業を実施。 	乗客数増加
伏木富山港	<ul style="list-style-type: none"> 県内外でセミナーや商談会開催、各種物流展示会へ出展。台湾・シンガポールに訪問し、船社・荷主企業等へのポートセールスを実施。 	便数増加
敦賀港	<ul style="list-style-type: none"> 大都市圏における3県共同セミナーの開催。[2015. 10] 荷主に対する補助金の充実。 	貨物量増加
舞鶴港	<ul style="list-style-type: none"> 京都府および舞鶴市、韓国地方自治体の実務者によるプロジェクトチームを立上げ、定期航路開設に向けた会合や船社へのポートセールスを行い、トライアル運航を実施した結果、日韓露国際フェリーの航路開設。[2015. 7] 	便数増加
下関港 北九州港	<ul style="list-style-type: none"> 新規国際RORO航路の就航を目的とした助成制度を創設。[2015. 7(北九州港)] 	便数減少 (ただし、前年より貨物・乗客数増加)
博多港	<ul style="list-style-type: none"> H23年度より着手した国際・国内ROROターミナル上屋の整備が完了。[2015. 8] 	便数増加

各港の取組状況について

③国際定期旅客(5港・3計画)

港名	代表的な取組事例(平成27年(2015年))	平成22年(2010年)との比較
下関港 北九州港	<ul style="list-style-type: none"> 下関港湾協会と下関市が共同で、韓国及び国内でポートセミナーを開催。(下関港) 北九州市と北九州港航路集貨対策委員会が合同で北九州港セミナーを開催。(北九州港) 	便数減少 (ただし、前年より乗降客数増加)
博多港	<ul style="list-style-type: none"> 「WF地区再整備構想」に基づき、九州・西日本の更なる発展に向けて、ゲートウェイ機能・MICE機能の強化や賑わいの創出、民間の活力を最大限生かした官民連携のまちづくりなどについて検討開始。[2015.3] 	便数減少 (ただし、前年より乗降客数増加)
長崎港 佐世保港	<ul style="list-style-type: none"> 小ヶ倉柳埠頭の既存倉庫の改修を行い、受入体制の整備を実施。(長崎港) 三浦地区岸壁(-10m)[2014.4]、旅客ターミナル[2015.4]供用開始。(佐世保港) 	(現在休止中)

④外航クルーズ(定点クルーズ)(2港・2計画)

港名	代表的な取組事例(平成27年(2015年))	平成22年(2010年)との比較
博多港	<ul style="list-style-type: none"> 2015年供用開始した中央ふ頭クルーズセンターに最大で20の入国審査ブースを設置することが可能であり、審査に要する時間が短縮。[2015.5] (公財)福岡観光コンベンションビューローと共催で、観光ガイドの育成研修を実施。(2015年クルーズ船寄港回数日本一 259回(うち、外航245回)) 	寄港回数増加
長崎港	<ul style="list-style-type: none"> 乗客の国籍や船側のリクエストに応じた受け入れを実施するとともに、観光パンフレットやチラシ、サインなど案内ツールの充実を図る。 様々な国籍の方々に喜ばれるよう、歓迎行事のバリエーションについても検討中。(2015年クルーズ船寄港回数 131回(うち、外航129回)) 	寄港回数増加

各港の取組状況について

⑤外航クルーズ(背後観光地クルーズ)(5港・3計画、拠点化形成促進港1港)

港名	代表的な取組事例(平成27年(2015年))	平成22年(2010年)との比較
小樽港 伏木富山港 舞鶴港	<ul style="list-style-type: none"> ・地元大学と連携し英語・中国語・韓国語版のクルーズマップを作成。移動式WIFI導入。(小樽港) ・知事による海外船社へのトップセールスを実施。(伏木富山港) ・環日本海クルーズ推進協議会(小樽港、秋田・船川・能代港、京都舞鶴港、境港)において、海外船社幹部の招請を実施し、環日本海クルーズを推進。(伏木富山港) ・国際ふ頭で大型客船に対応した係船柱の整備、ふ頭内への消費税免税店の出店。第2ふ頭で休憩スペースや観光案内・特産品の販売などのおもてなし機能を持つターミナル施設の供用を開始。(舞鶴港) 	寄港回数増加
金沢港	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国・釜山港と、今後のクルーズ振興に連携・協力して取り組む旨を約した合意書を締結。[2015. 6] ・コスタ社の日本海定期周遊クルーズを成功させるため、寄港地である5港(金沢港・舞鶴港・境港・博多港・釜山港)で日韓5港湾・都市連絡会を発足。金沢にて連絡会を開催、情報共有や意見交換実施。[2015. 10] 	寄港回数増加
境港	<ul style="list-style-type: none"> ・日本海側4港(金沢港、舞鶴港、博多港)と連携し、「シートレードクルーズアジア(釜山)」において、ブース出展し、誘致活動を実施。[2015. 6] ・クルーズ船社寄港時にふ頭に消費税免税店を出店。 	寄港回数増加
唐津港 (拠点化形成促進港)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外クルーズ船の誘致関係者招へい事業を実施。[2015. 10] 	寄港回数横ばい

各港の取組状況について

⑥ 大宗貨物(原木) (2港・2計画、拠点化形成促進港2港)

港名	代表的な取組事例(平成27年(2015年))	平成22年(2010年)との比較
境港	・合板供給拡大、輸送効率化等を目的とした「境港流通プラットフォーム」の取組みの一環として、境港ー北九州港間の海上輸送とトラック又は鉄道を組み合わせた、一貫輸送を行う「SEA&RAIL」トライアル輸送を実施。[2015.12]	入港回数増加
浜田港	・境港と連携し、大型船による原料の共同調達を実施。	入港回数増加
留萌港 (拠点化形成促進港)	・留萌流域森林・林業活性化協議会が主体となり、韓国群山市内の製材工場及び建築現場において、木材流通調査を実施。[2015.2]	貨物量増加
七尾港 (拠点化形成促進港)	・七尾港を拠点とした北米材のフィーダー輸送網の確立を目指したトライアル輸送及び国産材原木の輸出トライアル等を実施。	貨物量減少

⑦ その他貨物(LNGおよびリサイクル) (4港・3計画、拠点化形成促進港1港)

港名	代表的な取組事例(平成27年(2015年))	平成22年(2010年)との比較
石狩湾新港 (LNG)	・石狩LNG受入基地におけるタンクの増設中。 ・石狩湾新港発電所の建設。	取扱量増加
新潟港 直江津港 (LNG)	・天然ガスエンジン発電所「日本テクノ上越グリーンパワー」が営業運転を開始。[2015.12] ・石油資源開発が新潟港から既存ガスパイプラインを分岐・延伸し、郡山市東地区での供給開始。[2015.1]	取扱量増加
酒田港 (リサイクル)	・循環資源ビジネス連携モデルの実現に向け、企業の情報収集を行い、酒田港を活用した新たな海上輸送貨物量の増加に寄与。	取扱量増加
能代港 (拠点化形成促進港・リサイクル)	・他港(酒田港、姫川港、境港)との4港合同勉強会を開催し、各港の取組等について情報交換を実施。	取扱量増加

取組状況のフォローアップについて

【各港における取組について】

日本海側拠点港選定後5年が経過した。日本海側港湾の可能性について「光」をあてた結果、港湾管理者が中心となり、官民一体で計画実現に向けた様々な取組が行われ、国際海上コンテナ、LNG及びリサイクル等の取扱貨物量、国際フェリー・国際RORO船の便数や外航クルーズ船の寄港回数が増加するなど、選定された港湾において、成果が現れていることを確認した。

特に、外航クルーズは、地域毎に特色のある取組をした結果、平成27年(2015年)寄港回数は、過去最高を記録し、平成28年(2016年)も更に伸びることが予想されている。

【各計画の貨物量等の実績について(平成27年(2015年)実績)】

港湾管理者が中心となり、官民一体で積極的な取組が行われた結果、各計画の選定時よりも、選定後5年目の値が上回っている計画が、全体32計画中22計画となった。

参考資料：取扱貨物量等データ①

①国際海上コンテナ(10港・9計画)

港名	単位	各港が設定した目標値 (2011.11)		実績値						2015実績/ 2010実績	
		2015年	2025年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年		
秋田港	実入りのみ(TEU)	5,200	26,800	3,007	5,598	4,167	4,379	6,108	5,269	175%	貨物量増加
新潟港	空コン含む(TEU)	208,000	287,000	115,831	141,914	121,483	115,296	118,445	103,728	90%	貨物量減少
伏木富山港	空コン含む(TEU)	71,900	106,100	29,800	39,200	37,900	45,400	48,800	41,200	138%	貨物量増加
金沢港	実入りのみ(TEU)	26,000	42,000	14,639	17,307	15,031	17,758	18,418	17,838	122%	貨物量増加
舞鶴港	実入りのみ(TEU)	16,000	62,000	4,103	5,902	5,902	6,906	9,082	8,585	209%	貨物量増加
境港	実入りのみ(TEU)	11,970	26,290	7,530	8,551	9,751	12,050	12,900	13,480	179%	貨物量増加
下関港・北九州港	空コン含む(TEU)	358,000	503,000	249,554	333,214	317,190	306,126	292,210	294,335	118%	貨物量増加
博多港	空コン含む(TEU)	532,360	887,266	443,632	483,073	507,676	531,877	558,998	528,328	119%	貨物量増加
伊万里港	実入りのみ(TEU)	29,500	57,000	20,925	21,101	20,294	18,054	19,103	17,405	83%	貨物量減少

※ 国際海上コンテナ貨物の目標値及び取扱貨物量については、中国・ロシアを中心としたダイレクト航路によるもの

②国際フェリー・国際RORO船(7港・6計画)

港名	単位	各港が設定した目標値 (2011.11)		実績値						2015実績/ 2010実績	
		2015年	2025年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年		
稚内港	便数(便/週)	1 52便 (通年)	5 260便 (通年)	1~2 28便 (6~9月)	1~2 28便 (6~9月)	1~2 28便 (6~9月)	1~2 28便 (6~9月)	1~2 27便 (6~9月)	1~2 28便 (6~9月)	100%	乗客数増加
	貨物(トン)	設定なし	58,550	733	1,166	979	1,154	906	192	26%	
	乗客数(人)	設定なし	52,760	3,903	3,629	4,219	3,728	4,438	4,401	113%	
伏木富山港 ※実績は 国際ROROのみ	便数(便/週) ※()書きは 月当たりの不定期便数	2	7	0 (2)	0 (3)	1 (3)	1 (4)	1 (4)	1 (3)	皆増	便数増加
	貨物(トン)	491,000	976,000	344,934	491,411	676,794	866,761	753,126	324,139	94%	
	乗客数(人)	設定なし	---	---	---	---	---	---	---	---	
敦賀港	便数(便/週)	5	9	2	2	2	2	2	2	100%	貨物量増加
	貨物(トン) →TEU	44,000	136,900	4,715	12,426	14,213	14,884	10,002	10,336	219%	
	乗客数(人)	設定なし	---	---	---	---	---	---	---	---	
舞鶴港	便数(便/週)	2	5	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	1	皆増	便数増加
	貨物(トン) →TEU	17,541	55,910	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	35	皆増	
	乗客数(人)	50,000	130,000	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	482	皆増	
下関港・北九州港	便数(便/週)	18	25	17	14	11~ 12	11	11	11	65%	便数減少 (ただし、前年より貨物・乗客数増加)
	貨物(トン)	1,900,000	2,800,000	1,831,123	1,496,707	1,345,625	1,433,311	1,446,807	1,511,349	83%	
	乗客数(人)	設定なし	---	313,386	204,483	187,470	173,406	126,706	186,214	59%	
博多港	便数(便/週)	-	-	9	9	9	9	10	10	111%	便数増加
	貨物(トン)	-	-	1,099,760	1,115,245	1,111,925	1,103,734	1,067,659	975,753	89%	
	乗客数(人)	-	-	692,927	593,958	635,290	575,516	444,750	458,680	66%	

参考資料：取扱貨物量等データ②

③国際定期旅客(5港・3計画)

港名	単位	各港が設定した目標値 (2011.11)		実績値						2015実績/ 2010実績	
		2015年	2025年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年		
下関港・北九州港	便数(便/週)	15	20	15	12	10	9	9	9	60%	便数減少 (ただし、前年より乗降客数増加)
	乗降客数(人)	330,000	460,000	313,386	204,483	187,470	173,406	126,706	186,214	59%	
博多港	便数(便/週)	-	-	42~63	42	42~63	34~69	28~56	28~56	89%	便数減少 (ただし、前年より乗降客数増加)
	乗降客数(人)	-	-	692,927	593,958	635,290	575,516	444,750	458,680	66%	
長崎港・佐世保港	便数(便/週)	10	18	実績なし	1	1	実績なし	実績なし	実績なし	-	(現在休止中)
	乗降客数(人)	681,000	1,372,000	実績なし	453	7,377	実績なし	実績なし	実績なし	-	

④外航クルーズ(定点クルーズ)(2港・2計画)

港名	単位	各港が設定した目標値 (2011.11)		実績値						2015実績/ 2010実績	
		2015年	2025年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年		
博多港	寄港回数(回) (うち、外航)	-	-	84 (63)	55 (32)	112 (91)	38 (22)	115 (99)	259 (245)	308%	寄港回数増加
	乗降客数(人) (うち、外航)	-	-	194,557 (179,965)	80,669 (70,470)	221,410 (210,290)	68,049 (57,834)	431,547 (421,593)	1,158,589 (1,148,610)	596%	
長崎港	寄港回数(回) (うち、外航)	25 (25)	107 (107)	54 (44)	21 (19)	73 (72)	39 (37)	75 (72)	131 (129)	243%	寄港回数増加
	乗降客数(人) (うち、外航)	設定なし	設定なし	55,891 (52,576)	26,352 (25,610)	81,157 (80,797)	53,193 (52,129)	139,024 (137,850)	314,212 (313,314)	562%	

⑤外航クルーズ(背後観光地クルーズ)(5港・3計画、拠点化形成促進港1港)

港名	単位	各港が設定した目標値 (2011.11)		実績値						2015実績/ 2010実績		
		2015年	2025年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年			
協同計画	小樽港	寄港回数(回) (うち、外航)	設定なし	34 (19)	16 (4)	16 (4)	19 (8)	18 (10)	41 (35)	20 (12)	125%	寄港回数増加
		乗降客数(人) (うち、外航)	設定なし	設定なし	7,007 (2,900)	4,166 (509)	8,038 (4,218)	8,739 (6,474)	35,053 (33,621)	18,070 (15,231)	258%	
	伏木富山港	寄港回数(回) (うち、外航)	設定なし	19 (10)	5 (0)	5 (5)	8 (3)	6 (1)	9 (1)	4 (2)	80%	
		乗降客数(人) (うち、外航)	設定なし	設定なし	2,405 (0)	2,989 (0)	6,596 (2,641)	5,152 (2,721)	7,363 (2,114)	7,027 (4,633)	292%	
	舞鶴港	寄港回数(回) (うち、外航)	設定なし	14 (9)	3 (1)	4 (0)	3 (2)	7 (4)	15 (9)	8 (5)	267%	
		乗降客数(人) (うち、外航)	設定なし	設定なし	2,188 (706)	3,867 (3,867)	0 (0)	1,583 (861)	6,018 (5,364)	15,737 (13,122)	8,780 (6,800)	
金沢港	寄港回数(回) (うち、外航)	設定なし	20 (16)	6 (3)	5 (1)	6 (5)	18 (13)	16 (12)	18 (10)	300%	寄港回数増加	
	乗降客数(人) (うち、外航)	設定なし	6,347 (4,531)	2,447 (255)	1,364 (61)	2,709 (2,109)	12,227 (8,474)	12,463 (11,120)	8,255 (5,063)	337%		
境港	寄港回数(回) (うち、外航)	26 (16)	58 (48)	10 (3)	4 (1)	16 (10)	17 (12)	11 (10)	23 (17)	230%	寄港回数増加	
	乗降客数(人) (うち、外航)	設定なし	55,000 (50,000)	5,138 (255)	1,071 (61)	8,920 (5,860)	10,896 (7,962)	14,110 (13,000)	19,429 (16,387)	378%		
唐津港(促進港)	寄港回数(回) (うち、外航)	7 (3)	14 (11)	1 (0)	0 (0)	3 (2)	1 (0)	3 (2)	1 (0)	100%	寄港回数横ばい	
	乗降客数(人) (うち、外航)	4,400 (2,400)	10,800 (9,000)	524 (0)	0 (0)	1,211 (969)	800 (0)	1,021 (674)	236 (0)	45%		

参考資料：取扱貨物量等データ③

⑥ 大宗貨物(原木) (2港・2計画、拠点化形成促進港2港)

港名	単位	各港が設定した目標値 (2011.11)		実績値						2015実績/ 2010実績		
		2015年	2025年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年			
境港	貨物量(トン)	750,000	1,020,000	421,928	449,272	407,295	364,103	453,375	354,523	84%	入港回数増加	
	3万DWT級 入港回数	設定なし		11	16	21	19	28	23	209%		
浜田港	貨物量(トン)	300,000	500,000	136,097	113,474	147,608	198,899	133,806	116,561	86%	入港回数増加	
	3万DWT級 入港回数	14	13 (5万DWT級)	6	7	11	10	10	10	167%		
留萌港(促進港)	貨物量(トン)	設定なし		330,000	7,891	16,982	12,942	11,917	20,613	22,163	281%	貨物量増加
	3万DWT級 入港回数	設定なし		-	-	-	-	-	-	-		
七尾港(促進港)	貨物量(トン)	375,000	351,000	102,254	117,376	80,773	89,785	92,124	80,335	79%	貨物量減少	
	3万DWT級 入港回数	設定なし		7	8	4	8	7	6	86%		

⑦ その他貨物(LNGおよびリサイクル) (4港・3計画、拠点化形成促進港1港)

(LNG)

港名	単位	各港が設定した目標値 (2011.11)		実績値						2015実績/ 2010実績	
		2015年	2025年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年		
石狩湾新港	取扱量(トン)	3,100,000	4,600,000	0	0	192,637	817,553	1,105,617	1,168,286	皆増	取扱量増加
	入港回数(回)	40	59	0	0	2	9	13	17	皆増	
新潟港・直江津港	取扱量(トン)	14,000,000	20,000,000	7,084,721	11,128,487	13,033,930	14,154,367	15,424,028	14,778,821	209%	取扱量増加
	入港回数(回)	設定なし		55	85	96	102	111	107	195%	

(リサイクル)

港名	単位	各港が設定した目標値 (2011.11)		実績値						2015実績/ 2010実績	
		2015年	2025年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年		
酒田港	輸出(万トン)	20	35	15.3	18.3	18.7	18.8	18.3	20.9	137%	取扱量増加
	輸入(万トン)	設定なし		0	0	0	0	0	0	0%	
	合計(万トン)	20	45	15.3	18.3	18.7	18.8	18.3	20.9	137%	
能代港(促進港)	輸出(万トン)	8	13	5.3	2.6	2.4	5.6	7.1	6.7	126%	取扱量増加
	輸入(万トン)	設定なし		0	0	0	0	0	0	0%	
	合計(万トン)	8	18	5.3	2.6	2.4	5.6	7.1	6.7	126%	